

QD

THE TEACHER'S COLUMN



(社会福祉士 登録第1146号)

「若い頃、ずいぶんやんちゃをした」と語るDさん は、「お袋は自分が介護をして看取りたい」という思い から50代で介護福祉士の資格をとりました。「若い頃 のやんちゃ」がどの程度のものだったか、詳しくはわ かりませんが、ロックミュージシャンをめざして活動 を続け、定職についていない時期も長かったそうで す。どうにか収入が安定したのは中年になって音楽関 係の出版社に就職してからのことだったそうです。そ れなりの年齢になって過去をふりかえり、「心配をか けてきた分、親孝行をしたい」と思い立ったのが、介護 の勉強だったというわけです。ところがお母様はある 日突然逝ってしまわれ、「なんで俺に介護させてくれ なかったんだ」と悔しがります。まもなく定年を迎え る今、「せっかく勉強したのだから、今後に生かした い」と社会福祉士の資格に挑戦するそうです。

Sさんは優秀な販売員でした。契約がとれると、その ぶん事務処理の量がふえてサービス残業…翌朝、昨日 の売り上げが発表され拍手を浴びると誇らしい気持に なりました。支店間の厳しい競争があり、同じ店舗の中 でもいつも同僚との競争にさらされていたと言いま す。歩合制なので成績が良かったら給料も上がり、 トップをとると同僚から「おめでとう、祝杯をあげよ

う | と誘われて、毎晩飲み歩く日々が続いていました。 競争は終わることなく続き、目標を達成したらすぐ に次の目標が示され、達成すると祝杯をあげて二日酔 い…そんな日々の連続の中で時々、「一体、俺は何を やってるんだろう… | と思うことがあっても、自らそ の動きを止めることは思いつかなかったそうです。疲

労困憊の日々が続いていたある朝、Sさんは会社が倒 産したことを知ります。そのときSさんの心に浮かん だことは「あーこれでノルマから解放される…」とい うことでした。

Sさんはその後、ハローワークで紹介された老人 ホームに介護職として再就職しました。働き始めて 数ヶ月、何気ない時に利用者から「ありがとうね」と言 われたときに、これまでには経験したことのない穏や かで晴れやかな気持ちに包まれ、「一生、福祉の仕事に 関わっていこう」と決意したと言います。年収はいく ぶん減ったものの、以前の会社では給料が上がったら 仲間におごるという社風があったために、ほとんど貯 金ができなかったことからすると、今は健康的で堅実 な、人間らしい生活になったと語ります。

人にはそれぞれドラマがあり、みなさん、いろいろ な動機から受講されている事と思います。先輩たちは 全国各地の施設・事業所で、また地方議会議員、行政 職、民生委員、新聞記者、弁護士、司法書士、行政書士、 社会保険労務士、教育者、研究者などとして、様々な場 で活躍されています。

みなさんも、先輩たちの後に続いてソーシャルワー カーとしての学びを深め、資格取得に向けて、邁進して いきましょう。

養成所ニュースプラス[†]

「養成所ニュースプラス」は、登録したメールアドレスに週に一度、過去の国家試験問題や各種のお知らせ、 受験に関する情報等をお届けし、翌週にその正解と解説を配信するメールマガジン(無料)です。通勤・ 通学や普段の学習の合間に、受験勉強の"きっかけ"としてご利用ください。登録に関してはホームペー ジをご覧ください。



公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所







社会福祉士養成所ホームページURL http://www.aigo.or.jp/yoseijo/



平成29年度スクーリング日程

	28期生スクーリング②	29期生スクーリング①
東京会場	平成29年7月22・23・24日	平成29年8月25・26・27日
仙台会場	平成29年8月18・19・20日	平成29年8月18・19・20日
名古屋会場	平成29年8月4・5・6日	平成29年8月4・5・6日
大阪会場	平成29年7月28・29・30日	平成29年7月28・29・30日
福岡会場	平成29年7月15・16・17日	平成29年7月15・16・17日

国家試験に向けてのおすすめ図書

- 国民の福祉の動向(厚生統計協会)
- 厚生労働白書(厚生労働省)
- 週刊福祉新聞(福祉新聞社)
- 必携社会福祉士(筒井書房)
- 社会福祉士・受験ワークブック(中央法規) ワイド版社会福祉小六法〈資料付〉(ミネルヴァ書房)

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。



SCHOOL NEWS



.**6** No.27

平成29年6月1日 発行 【発 行】 公益財団法 人

日本知的障害者福祉協会 社会福祉十養成所 〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 TEL:03-3438-0984 FAX:03-3431-1803

第29期生238名が受講スタート!!

「第29期・新受講生を迎えて」

第29期生の皆様、社会福祉士養成所へのご入学、おめでとうございます。また難関を突破 して、第29回社会福祉士国家試験に合格された修了生の皆様に心よりお祝いを申し上げます。

昨年は障害者総合支援法の改正により新たに「自立生活援助」と「就労定着支援」が創設 され、障がいある人たちの自立した地域生活支援への道が一歩進められました。今回の法改 正の根拠となった「障害者総合支援法3年後の見直しに関する報告書」では、利用者の意思 決定に向けた具体的な支援と取り組みを求めており、本年3月には「障害福祉サービス等の 提供に係る意思決定ガイドライン」が示されました。当協会でも支援現場への意思決定支援 の考え方や内容について普及と啓発を図るべく、積極的に取り組みを進めているところです。



社会福祉士養成所 所長

橘 文也 (日本知的障害者福祉協会会長)

こうしたさなか、昨年7月、施設を利用している障がいある人たちが元職員に殺傷される という社会を震撼させる事件が発生しました。事件に関連してネットなどで表明された意見 の中に、元職員がもっている人権無視、人命軽視の誤った障がい者観に賛同する声があった

事は、社会の中にある根深い差別、偏見という厳しい現実を、改めて私たち福祉関係者に突きつけるものでもありま した。

当協会では事件直後に、「障がいの有り無しで命を選別することは絶対にあってはならない」とする声明を発表しま した。福祉人材の育成に関しては、障がいのある方への支援に高い志を持つ方に福祉現場で働いて頂きたいと願うと ともに、より良い人材の確保と育成に向けた取り組みを続けていかなくてはなりません。

本養成所は、事業体としては唯一の社会福祉士養成機関として平成元年にスタートして以来、協会の内外に門戸を 開き、多くの人材を輩出してきました。困難な時代を迎えていますが、今後も社会福祉の価値・倫理を最も大切にして、 福祉人材の育成に尽力していく覚悟を新たにしています。より良い社会の実現のために、知識と技術の習得に向けて、 同じ目標を持った仲間と互いに励まし合い、本養成所での学びが実り多きものとなることを祈念いたします。

116名

24名

12名

42名

14名

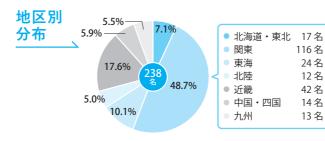
13名

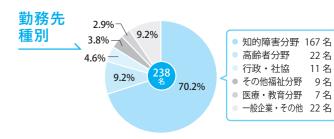
□ 第29期生の概要 (平成29年5月現在)

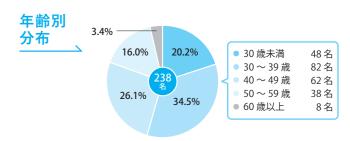
第29期生社会福祉士養成所の受講生は、238名です。 概要については下記の通りとなります。

運堂状況 (過去3年間)

	年度 (期生)	応募者数	入学者数	修了者数
平原	成27年度(27期生)	249名	240名	227名
平月	成28年度(28期生)	238名	230名	
平月	成29年度(29期生)	251名	238名	









第29回国家試験結果報告

第29回社会福祉士国家試験において本養成所より174名(うち28年度修了者82名)が合格しました。前年度(第28回 試験)は153名(うち27年度修了者64名)でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数(人)	合格者数 (人)	合格率(%)
第27回試験	45,187	12,181	27.0
第28回試験	44,764	11,735	26.2
第29回試験	45,849	11,828	25.8
第1回試験からの合計	786,720	216,227	27.5

きることに真剣な姿があり頭が下がる思いです。

国家試験の結果(養成所修了者)

	総数	新卒		
	合格者(名)	受験者(名)	合格者(名)	合格率(%)
第27回試験(25期卒業生)	199	220	100	45.5
第28回試験(26期卒業生)	153	173	64	37.0
第29回試験(27期卒業生)	174	202	82	40.6

第30回社会福祉士国家試験の概要

試 験 日	平成30年2月4日(日曜日)
受験手数料	7,540円(昨年度額)
受付 (提出期間)	29年9月7日から10月6日(消印有効)まで

※詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ(http://www.sssc.or.jp/)をご参照ください。

科目担当 教員から FROM TEACHERS

受け継がれる命 ~母とメロンと私~

高齢者に対する支援と介護保険制度担当

白井 京子



今生きているものはすべて生命誕生から受け継がれてきたもので生き残ったものといえます。また、生命は他の 生命を犠牲にして生存してきていますし、人間は他の人間に支えられ、やっと人間として生きていられます。こうい

うことを考えると、自然を含め自分を取り巻く世界に対して謙虚にならざるを得ません。 私が所属している鶴見大学は、横浜市鶴見区の曹洞宗大本山総持寺境内にあり、緑が豊かな環境で野良猫やカラスなどによく会いますが、みんな生きることに必死です。食べなければ死んでしまうからでしょう。動物を見ると生

私は3歳になるチワワとマルチーズのミックス犬(♂4kg)を飼っています。膝に乗せると目をパチパチして首を傾げ、疲れている時でも癒しホルモンが分泌されほこっとします。もともと猫派で、幼い時に犬に追いかけられたことがありこれまで犬は苦手でしたが、今は大きな犬でも平気で近づいていけるようになりました。限りある命を懸命に生きている姿はいとおしく、犬だけでなく動物全般に対する愛情も深くなったと感じています。

きっかけは 2 年前に他界した母が腎臓病の悪化で介護が必要になったとき、在宅療養が寂しくないように飼うことにしたのです。家に来たのが 5 月で熊本産のメロンがとても美味しかったので「メロン」と名付けました。母は他界する 1 年前の 1 月に透析をしなければならないほど腎機能が落ちていました。透析を受ける生活は母には耐えられないと思い、食事療法と内服薬を選択しました。余命 3 か月と医師から告げられましたが結果として 1 年 3 か月の在宅療養でした。その間、デイサービス、訪問看護、訪問介護、訪問診療、介護用品のリースなど多くの福祉サービスを利用しました。

母は、亡くなる 10 日前に急激に体調が悪化しましたが、それでもデイサービスに行きたいというので、7 日前まで行きました。3 日前の朝食は大好きなたこ焼きを 4 つ食べました。2 日前から体を起こすと意識が遠のきました。亡くなる 4 時間前から明らかに呼吸状態が変わり、同居する弟家族にも伝え、私もお風呂に入るなどその時に備えました。その後 2 時間ぐらいで母は息を引き取りましたが、最期まで静かで穏やかでした。夜 10 時を過ぎていましたが、訪問看護師、訪問診療医に連絡し来ていただきました。

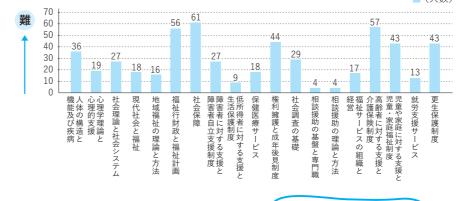


母が残していったメロンですが、その愛らしさで私の心の穴をしっかり埋めてくれています。メロンのおかげで、母の姿がなくなったことを嘆くより、私の中に母の魂のようなものが続いていることを感じながら生きようという前向きな気持ちを早くから持てるようになりました。

母は多くの福祉サービスを利用し愛犬メロンやたくさんの人に囲まれて最期の時を迎えました。社会福祉士をめざすみなさん、すべての人が健やかに生き、命が受け継がれていくような心豊かな社会をめざして共に歩んでいきましょう。

第29回 国家試験に関するアンケート

科目別難易度



平成28年11月に修了をした第27期生227名を調査対象とし、158名(①受験をした147名②申込みをしたが当日受験しなかった3名③申込みをしなかった8名)からの回答が得られました。図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収していますので、未提出の方は早急に提出してください。

\ ADVICE / **合格者からのアドバイス**

1年次の心構え… レポートをしっかり、視野を広く!

- ・レポート提出のためだけでなく、教科書は全て読み解き、理解するという方法をとった。これが案外、記憶の定着になり、 実学に繋がると感じた。
- ・早い段階で科目の全体像をつかむことが大切だ。レポートは 絶対締め切りを守り、テキストは、最低2回は読むようにした。
- ・2年弱という期間でレポート数は決まっているので、毎月コンスタントにレポートを仕上げていった。
- ・「疑問」に感じる点を徹底的に調べつくすことで、実力がついたと思う。
- ・時事問題も問われるので、いつも新聞やニュースに敏感になっておくことが大切。

時間の工夫…

1日24時間では足りないけれど!!

- ・仕事と勉強は本当に大変だった。朝3時から4時には起床。 夜は21時か22時には寝て、土日はとにかく勉強にあてた。
- ・1ヶ月、1週間、1日というスパンでタイムスケジュールを 作った。マンネリ化してしまわないよう、時々勉強場所をカ フェ、図書館などに変えた。
- ・暗記CDを通勤中に聞き流し、重要事項を自分でスマホに録音し、歩きながら聞いた。
- ・毎日30分、1日1間でも良いから続けることが大切だと思った。
- ・ポケット参考書やアプリのように休憩時間やちょっと空いた 時間に手軽に取り組めるものを繰り返しやった。
- ・学生と違い長時間勉強できないので、効率を考えた。いつまでにこれをやるといった決め事を作り、毎日少しでもテキストを読む、問題を解くようにした。

2年次からの対策… 自分にあった勉強法で!!

- ・夏ごろに各社の参考書が出版される。その中から自分に合い そうなものを選び、しっくりくる参考書を一冊使い倒すのが、 ベストだと思う。
- ・過去問をやる必要はあるが、同じ問題は出ないので解説をしっかり読み、間違った所を書き出した「My一問一答ノート」で苦手つぶしをした。
- ・過去問は解説を見ながらやった後に、テキストに目を通した。 過去問をやることで、テキストで重要だと思われる箇所に目 が行くようになった。
- ・過去問・模擬問題集を、時間を計って一通り行い、点数の低い分野を把握してそこを重点的に勉強した。
- ・各制度の主旨、目的を押さえ、単に知識・暗記に走らないようにした。
- ・試験は選択なので暗記はそこまで重要視しなくて良く、丸覚えする必要はなかった。
- ・人の名前や理論等はどうしても暗記できなかった為、関連する福祉の伝記、心理学、社会学の基礎等の本を図書館で借りて体系的に学んだ。

講座等…

時間とお金を惜しまないこと!

- ・独学だけでは厳しいものがある。中央法規が行っている受験 講座・模試を受けた。
- ・苦手科目について企業のやっている講座を探して、複数回受けた。時間とお金をかけることが必要と思った。
- ・社会福祉士養成校協会のWeb講座を視聴した。講師のアドバイスをテキストに書き込み、要点と共に赤ペンで余白にまとめた。Web講座のテキストは要点がまとめられており良かった。

- ・不合格ではあったが、得られるものは多かった。次回に向けて準備を始めています。
- ・仕事や家事を終えてからの勉強は正直しんどかったが、毎日 30分でも良いから基礎をしっかりやれば身につくし、合格 も遠くはないと実感した。
- ・模試は50点くらいだったのが、本番は合格まであと2点だったので、よくやったという思いと残念な気持ちと複雑な心境。 反省点としては時事問題等にもう少し目を通せば良かったと思う。反省点を踏まえて、地道に勉強していきたい。
- ・仕事上、落ち込むことがあり、勉強が手につかなかった。そ ういうことに左右されないよう、早いうちから過去問に取り 組み、自分の不得意な科目を把握して、毎日少しずつでも勉

- 強する習慣をつけておくべきだったと思う。
- ・試験対策用のワークブックなどに頼りすぎて、テキストの内 容事項が疎かになってしまったと反省している。基礎的な理 解がないと解けない問題が多かった。
- ・レポート提出をしながら、過去問を解き、社養協のWeb講座で学習した。Web講座の講師やスクーリングの先生が言っていたように、教科書を通読することも重要だと感じた。内容が多いので時間が足りなかったことが残念。力をつけて再挑戦します。
- ・模擬試験を受けていたら、時間配分ができたと思う。時間が 足りず、最後はかなり焦ってしまった。来年は模擬試験も受 けようと思う。